

租税教育実践レポート

わたしたちのくらしと税金の関わり

登米市立北方小学校教諭 6学年 小川 裕輔

実施年月日：令和5年5月24日 32名

1 実践計画・指導のねらい

児童の多くは、税金という言葉は知っているものの、その目的や種類、使われ方等について理解している児童は少ない。そこで、社会科の学習やゲストティーチャーによる「租税教室」を通して、税金の目的や種類、使われ方等について理解を深めさせるとともに、自分たちの生活をよりよくするためのものであることに気付かせる。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○), こどもたちの反応 (●), 使用教材等 (□)	【指導のポイント】
1	・税金について知っていることを話し合う。 ・税金の働きについて教科書や資料集を使って調べる。	○ <u>税金についてどんなことを知っていますか。</u> ● 消費税や自動車税がある。 ● 税金がどのように使われているのか、よく分からない。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）	【指導のポイント】≪1時間目≫ 児童にとって身近な場面（買い物や車に関すること等）を想起させ、税金と自分たちの関わりについて考えるきっかけを与えた。
2	・税金の働きについて調べたことをまとめる。	○ <u>税金にはどんな働きがありますか。</u> ● 学校や児童館など、公共施設をつくったり維持したりするために使われている。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍） 副教材「わたしたちのくらしと税金」	【指導のポイント】≪2時間目≫ 学校や公民館など、児童にとって身近な具体例を示しながら「公共」の意味を理解させた。
3	・税金と公共施設とのかかわりについて理解する。	○ <u>子育て支援センター「あすばる」の運営には、どんな費用が必要ですか。またその費用は、どこから出ていますか。</u> ● 施設を建てたり修理したりする費用、管理する人への給料。 ● 建設費用に1億円以上もかかるなんてびっくり。 ● それらの費用は、税金で賄われている。 ● 登米市でも、同じような施設に税金が使われているのかな。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）	【指導のポイント】≪3時間目≫ 校舎内にある児童クラブに通っていた児童の話を取り入れ、施設やその必要性について具体的にイメージさせた。
4	・税金の種類や使われ方について知り、その必要性を実感する。 ☆租税教室	○ <u>税金が使われている施設はどれでしょう。</u> ● 公民館、学校、警察署。 ○ <u>税金がなくなると、どのようなことが起こるでしょうか。</u> ● ゴミがあふれたり道路や橋が直せなくなったりする。 ● 火事が起きても消防車や救急車をすぐに呼べない。 ● 安心して生活することができなくなる。 □ 使用教材名 視聴教材「マリンとヤマトの不思議な日曜日」	【指導のポイント】≪4時間目≫ 税金に関わるクイズやDVDの視聴、ゲストティーチャーの講話によって、児童が税金の使われ方を理解したりその必要性を感じたりできるようにした。
5	・登米市の収入の内訳や使い道を知る。	○ <u>登米市では、税金がどのように使われていますか。</u> ● 様々な公共施設や市民の生活に関わることに使われている。 ● 特に、医療や福祉関係に多く使われている。 ● 学校にも多くの税金が使われている。 □ 使用教材名 副教材「ToMe」（登米市広報）	【指導のポイント】≪5時間目≫ 自分たちのまちの予算を調べることで、自分たちの生活と税金の関係をより身近に感じさせられるようにした。
6	・学習を振り返り、学んだことを絵はがきで表現する。 (税に関する絵はがきコンクールに応募)	○ <u>税金は、わたしたちにとってどのようなものですか。</u> ● 安全に安心して暮らすために必要なもの。 ● 税金があるおかげで、みんなが快適に暮らせる。 ● 税金の有り難さを忘れないようにしたい。 副教材「登米市の予算とまちづくり」（令和5年度当初予算）	【指導のポイント】≪6時間目≫ 互いの絵はがきについて紹介する活動を取り入れることで、税金に対する見方、考え方を広げさせるとともに、その必要性について再認識させた。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 租税教室や税に関する絵はがきコンクール、登米市の予算について調べる活動を取り入れたことで、税金が自分たちの生活にとって大切なものだと思わせることができた。
- ◆ 児童がより身近に税のことを感じたり考えたりできるようにするため、児童と保護者が税について話し合う、市役所の方に予算の立て方や実例等を説明してもらおうなどの手立てを検討する。